

NOTES & NEWS



2018. 2 発行 第 21 期 2 号 通巻 62 号

2017-2018年度 西日本区メネット事業主題
生きる! 希望を分かち合いながら
Live, sharing Hope



聖句

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。
(コリントの信徒への手紙 I 12 章 26 節)

上半期を振り返って

メネット事業主任 中道 京子(神戸)



2017年9月10日の京都部メネットアワーを皮切りに、11月末までに阪和部、六甲部、西中国部、中部、びわこ部のメネットアワー(合同メネット会)、そして九州部と瀬戸山陰部では部会において、今期国内プロジェクト事業のテーマである「子どもの貧困」についての講演会、シンポジウムや学習会などが開催されました。その内容は、関西、福岡や金沢・能登の「フードバンク」、子どもの学習支援やシングルマザーの就労支援、子ども食堂、DV被害者支援、自立援助ホーム(15才以上対象の児童福祉施設)などの代表者や要保護児童対策に関わる弁護士の方など、多方面の活動や現場の様子を知る良き学びの時が持たれました。今後も中西部やいくつかのクラブでプログラムが計画されています。

各部長やメネット事業主査の皆様には、国内プロジェクト事業をご理解いただき、メネットアワーもしくは部会において、講演会やシンポジウムなどを企画・実施していただきましたことに、心より感謝申し上げます。

また、皆様には、講演会などへのご参加、国内プロジェクト事業のための席上献金、ファンド物品購入を通して、ご協力いただき本当にありがとうございました。

当初「子どもの貧困」という言葉を聞いた時には、「あまりピンとこない」とか「私たちの身近に、子どもの貧困があるの?」という思いを持っていました。しかし、この問題に関心を持ち、新聞、本、テレビ番組の特集やそれぞれの講演を聞いていくうちに、非常に深刻な問題であるにもかかわらず、子どもたちが直面する相対的貧困は、意識して注目しない限り、社会的には認識されにくい問題であるということが分かってきました。教育の機会、人との繋がりなど、社会が「あたり前」と思っている普通の生活ができない状態は、子どもの教育や成長に大きな影響を与えるものです。それだけに一層、青少年を支援しているワイズメンズクラブとしても見過ごすことができません。

そして、この問題を放置しておく、将来的に社会を担う大人が減少し、経済的にも大きな損失となり、社会にも影響する大きな問題になると言われています。そのように考えると、このことは決して、他人事ではありません。

現在、各部から、支援したい「子どもの居場所づくり」をしている団体が推薦されてきています。各団体に少しでも多くの支援ができますように、皆様のご協力をよろしく願いいたします。

下半期も頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



子どもに寄り添う大切な事業

西日本区理事 大野 勉(神戸ポート)

メネットの底力

7月1日に始まった今期の最初の事業が、メネット事業主査研修会でした。西日本各地から43名が集い、実り多いスタートを切ることができました。今期のテーマ「生きる! 希望を分かち合いながら」を各部に広めることができました。

秋の部会・メネットアワーめぐりを通して、私はメネット事業キャビネット&神戸クラブメネットの底力を感じました。神戸メネットのサポート隊が、常にキャビネットと行動を共にし、メネット事業主任を盛り立て、また物販を広め「メネットの力ここにあり」を示してくれました。

作業所ボレロのフィナンシェ、就労支援センターオリンピア岩屋のナッツはいかがでしたか?私は、毎夜、これがないと口が寂しくなっていました。

見えにくい子どもの素顔

各部における「子どもの貧困に寄り添う」活動をいくつか紹介していただきました。また、私たちに何ができるのか、考えさせられ、行動の道筋を示していただく機会もありました。

その中で感じたことは、子どもの素顔が見えにくくなっているということです。家族で大きな車に乗って外食へ出

かけるのに、朝の食事は十分にとれていない。ケータイを持たされ、安全・安心を親子で確かめ合っているが、子どもが何をして遊んでいるのか親は知らない。家庭学習は、親の確かめ、見守りがあってこそ効果を発揮するが、一人だけで宿題をする子。さまざまな子どもの様子が想像されます。これは想像です。見える子どもの姿から、想像されるのです。

子どもは見守られて、励まされて自信をつけ、自己肯定感を高めます。これが最も大切なことです。子どもに寄り添うには、その親にも寄り添う必要がありそうです。

継続の大切さ

今期のメネット事業は、メネットの事業としてだけでなく、ワイズ全体での事業として取り組まなくてはならないのではないか。そのような思いをもつようになりました。子どもを受け止め、温かく包み込むように育む、育てる行為は、いわば母性と言えます。男性の中にもこのような性質(母性:生物的ではなく心の面でのもの)があると考えます。ワイズにおける奉仕活動を社会へ広げ、子どもに寄り添うことで、ユースを育て、明日のワイズを築いていけるのではないかと。

上半期の活動を通して、いろいろ考えさせられることが多くありました。私たちに何ができるのか、できることを実践していくと共に、継続して取組める活動をつくり上げていきたいものです。

各部主査より活動報告



湯涌温泉での合同メネット会

中部メネット主査 数沢 淑子 (金沢)

2017-2018年度も上半期を終えました。9月18日に「中部部会」と「金沢クラブ70周年記念式典」、11月18-19日には「中部評議会」と「中部合同メネット会」を、いずれも金沢で開催しましたので、何かと慌ただしい半年でした。中部にはメネット会が名古屋クラブと金沢クラブにありますが、今回クラブ訪問として9月24日

(日)金沢犀川クラブの9月第一例会と、10月10日(火)名古屋クラブ第一例会の2クラブに出席させて頂き、久しぶりにメネットさんたちにお会いすることができました。

「第21回中部合同メネット会」は一泊二日という日程で、湯涌温泉「お宿やました」で開催されました。過去にも、温泉一泊の合同メネット会では、名古屋地区のメネットさんたちと親しく楽しい交流が持たれました。しかし、どちらも年々メネットの高齢化に伴い遠出が難しくなり、さらにお泊りの会はどうも…ということで、今回は残念ながら中部メネットの参加者はホストクラブのみとなりました。幸い中道京子メネット事業主任をはじめ神戸クラブのメネットさん6名のご参加が、雰囲気盛り上げて下さいました。さらに大野勉理事はじめ役員の方々、中部評議会役員の方々のご出席で、メン・メネット共々楽しい懇親会となりました。ご参加頂いた皆様から感謝申し上げたいと思います。



講演会では、今期の事業方針に沿って「子どもの貧困」について、特にこの地域での子どもたちの現状を学ぶ

ために、地域で活動しているNPO法人「金沢・能登フードバンク」代表の津田たまえ氏を講師にお招きました。ご自身が重度の障がい者で車椅子の生活ですが、とても明るく力強い感動的な講演をお聴きすることができました。身近に、生きる力を奪われている子どもたちの現実を知ることが出来て、よい学びの場となりました。今後のメネット活動に生かしていきたいものです。





上半期を終え

びわこ部メネット主査 西川 允 (近江八幡)

今期7月にびわこ部メネット事業としての活動がスタートし、約半年が経過しました。この間、区や部の役員の方々のご指導と近江八幡クラブのお支えにより、以下のふたつの実績を上げることができました。

ひとつはメネットアワーを11月25日草津市まちづくりセンターにて開催しました。中道京子メネット事業主任を始め神戸クラブのメネットの方々も参加くださり、総勢32名の参加がありました。



まず、国内プロジェクトとして全国で活動している、子どもをサポートしている多くの地域団体を支援すること、メネット主任としての熱い思いが心に響きました。その後、大津市坂本にある自立援助ホーム「びつつ・ゆにっと」廣田敬史氏による「子供の貧困、活動の実際」と題する講演を聴きました。家庭のない二十歳までの児童、家庭に居ることができない子どもたちの就労、社会適応を看護し、指導

していく施設で、その現場では我々の想像を絶する現実と直面され、奮闘されておられるスタッフの方々がおられることを訴えられました。

次に、毎年恒例となっているびわこ部メネット会主催の料理教室を、前述のメネットアワーに先立ち午前中デイリパ草津で行いました。この料理教室は、立派な最新型のガス設備を使用し、多数のインストラクターの懇切な指導の下、ヘルシーで豪華な5品を2000円で参加できるお得感のある料理教室です。(勿論自分たちで作ったお料理はその場でいただきます)中道京子メネット事業主任、キャビネット1名も特別参加され、総勢24名(うち女性15名)が3チームに分かれ、調理場では、ワイワイと口と手を動かしながらの悪戦苦闘の始まりです。お料理をしながらの会話と作業協力はびわこ部のより親密な関係を築くことが出来たことと思います。

クラブ単位の活動としては、近江八幡クラブメネット会が日本舞踊「ゆりの会」として近隣のデイサービスや老人ホームなどを施設訪問し、披露をされています。「ゆりの会」はメネット2名を中心に4名のメンバーで去年発足したばかりの若いグループであり、その意欲は大きく応援に値するものです。



最後に、今期メネット事業国内プロジェクトに対する献金に関し、びわこ部会とメネットアワーにて、再三にわたる心温まる皆さまのお支えに感謝致します。

メネットアワー報告と所感



京都部メネット主査 宮越 寛 (京都ZERO)

今期の京都部メネットアワーは、第22回京都部部会と同日の2017年9月10日にウエスティン都ホテル京都にて開催させていただきました。中道京子メネット事業主任の事業方針への理解を深めていただきたく、主任より参加者の皆様へ直接に訴えていただき、それに関連する取組みについてのお話をWACCA代表の茂木美知子様よりいただきました。私自身にとっても大変有意義な時間でありましたが、ご参加の皆様にとっても有意義だった事と感じており

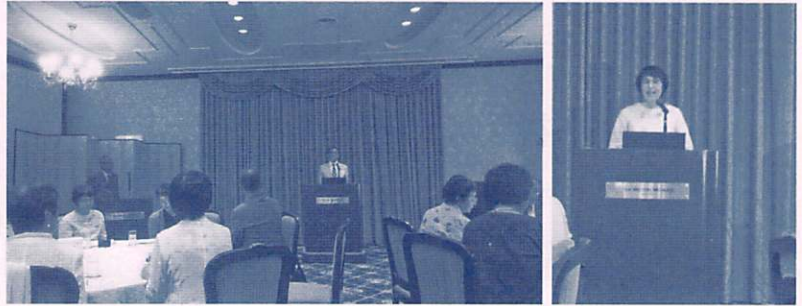
ます。ご参加いただいた60余名の皆様には席上献金へのご協力も併せましてこの紙面をお借りしあらためてお礼申し上げます。

上半期が過ぎた今の所感としましては、一言で表現するとメネット事業の難しさを感じております。ひとつはYサ事業のように事業内容がある程度固定していないので、メンバーやメネット(パートナー)の理解を深めにくい。つま

り、何度か繰返し関わることによって、どんどん内容や趣旨への理解が深まり支援や協力の輪も広がるというようなサイクルが出来難いところ。もうひとつは各クラブ内でのメネットへの情報伝達方法に差異があるため、呼掛けた情報の伝わり方に差異ができ十分に伝わらない場合があります。メネット組織がある程度できているクラブでは、クラブ会長よりメネット会長や連絡員へ伝えれば情報が流れますが、そうでないクラブではメンバーを通じての伝達ということになり、伝わっていない場合もあるようです。

下半期では情報伝達も、もちろん大事ですが、何よりもメネット(パートナー)同士が、出会う、お話し、顔見知りになっていただき、そうなる事によってメネット事業にも参加しやすい状況ができればと思います。楽しく、積極的に集うことができるように、そのきっかけの場として、また「これからのメネットとは?」についてのご意見を募る場としての機会を下半期に持てればと竹園京都部部長共々、現在模索中です。

尚、下半期の主な活動予定は、2018年1月18日京都センチュリークラブ部長公式訪問随員、2018年2月15日京都センチュリークラブメネット例会、京都部内各クラブ周年記念例会、他。



2017/09/10 京都部メネットアワーより

2017阪和部メネットの集いの報告

阪和部メネット主査 飯沼 眞 (大阪泉北)

今期阪和部会が開催されました9月16日(土)10:00~12:00大阪南YMCAにて、阪和部会に先立って「2017阪和部メネットの集い」を開催しました。大野勉理事、中道京子メネット事業主任と理事キャビネット、メネット事業主任キャビネットをはじめ48名のメン・メネットが参加されました。

NPO法人フードバンク関西代表理事・浅葉めぐみ氏の「フードバンクと子ども食堂」をテーマの講演と大阪堺YMCA四方陽子主事による「さかいほっと広場」、大阪東YMCA杉村徹主事による特養ホームYMCAサンホーム「YMCAこども広場」の取組みの報告がありました。

NPO法人フードバンク関西代表理事・浅葉めぐみ氏から「フードバンクと子ども食堂」と題してご講演をいただきました。今回の講演では、日本での食料の生産とその販売にたいして、販売店舗や消費者の購入動向から、流通段階にて小売り店舗で消費者が目にする前に、賞味期限・消費期限に達するまでに処分されている状況を詳しく話されました。消費者が知らないまでに処分される食材量は、経



済的な損失だけでなく



環境的な問題性があります。海外の事例も含め、近年の国の動きや地方自治体の動きからも、フードバンクの仕組みと活動内容が重要になっており、食材の有効利用からもフードバンクの必要性についてわかりやすくご説明していただきました。また、フードバンクと子ども食堂がうまく連携することが今後の両者の発展のために重要であると思いました。

大阪堺YMCAが堺市から指定管理を受託している堺市立青少年センターで10月からスタートを予定している「さかいほっと広場」についてのお話を施設長の

四方陽子主事から、またサンホーム「YMCA子ども広場」の活動内容等について、大阪東YMCA主事の杉村徹さんから、現実の状況を踏まえて力強い報告をしていただきました。

YMCAと共にワイズメンズクラブとメネットが子どもの居場所づくりとして支える大阪堺YMCAの「さかいほっと広場」及び大阪東YMCAサンホーム「YMCA子ども広場」にご理解とご協力も併せてお願いいたしました。

「2017阪和部メネットの集い」席上献金全額26,000円をメネット事業国内プロジェクトへの今期支援献金として中道京子メネット事業主任にお渡ししました。



中西部メネット事業上半期報告

中西部メネット主査 北村 知三(大阪)

7月1日(土)神戸YMCAでメネット事業主査研修会

西日本区各部のメネット主査と部長が集まって行われた研修会に参加。中道京子メネット事業主任から、事業方針として「子どもの貧困について」を国内プロジェクトのテーマにすることの詳しい説明を受けた。また貧困のなかにいる子どもたちへの支援施設の現場で活動して

いる、二つの団体代表者から講演があった。

7月29日(土)第1回中西部評議会で、各クラブのメネット事業委員と勉強会と懇談の時を持った。

7月～9月 中西部各クラブへの部長公式訪問に同行。また、別にクラブ訪問をして、メネット事業国内プロジェクトの説明を行った。

9月23日(土)中西部部会で、中道京子メネット事業主任からメネット事業国内プロジェクトの説明があった。同時に席上献金を行い、集められた総額84,153円をメネット事業国内プロジェクトに献金した。

10月21日(土)NPO法人西淀川子どもセンター設立10周年記念シンポジウムに参加。「子どもの居場所づくり」の活動現場について学んだ。

今後の予定として、中西部メネットアワーを開き、講演会を開催します。

日 時:2018年2月17日(土)14:00～16:00

場 所:大阪YMCA土佐堀館10階 チャペル室

講演者:NPO法人西淀川子どもセンター代表理事・西川日奈子氏

講演のテーマは「子どもの居場所づくりの現場の活動」について語っていただきます。中西部のメネットだけでなく、メンの方々も多数参加していただくようお願いいたします。



六甲部メネットアワー「子どもの貧困」についての学びと話し合い

六甲部メネット主査 松本美耶子(さんだ)

9月24日(日)11時より12時20分まで、六甲部部会に先立ち西日本区各クラブのメン・メネット60名のご参加のもと開催。今年度のメネット国内プロジェクトのテーマ「子どもの貧困」について学ぶ時を持ちました。

まずはプロジェクトの意図、取組みを中道京子メネット事業主任より伺い、その後テーマの理解を深めるために、プロジェクターを使って『私たちのこれから「子どもたちの未来」』と題する映像を40分ほど観ました。

内容は、なぜ「子どもの貧困」が問題となるのか、母子家庭の具体的な例、相対的貧困、学識者の意見、支援の現状、貧困率を改善した海外の国の例、貧困の連鎖などを取り上げ、これからの私たちや子どもの未来に及ぼす影響という視点から作られた「他人事ではなく自分事」ということを考えさせられるものでした。最後は「子どもたちが希望を持てる社会にしていくために一番大切なこと」で締めくられ、今年度の主任の「生きる!希望を分かち合いながら」という主題に沿ったものであったと自負しております。



その後の話し合いではそれぞれの立場からの積極的な意見も出され、皆さまに関心を持っていただける良き時となりました。

準備や当日の役割を六甲部各クラブメネットが担ってくださり、また六甲部メンの皆さま、YMCA職員のお支えもいただきましたこと、そして、西日本区メネット事業のための物品販売や席上献金のご協力もいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

12月末までに「子どもをサポートしている地域団体を六甲部メネット事業より推薦する」という課題がありますが、目下各クラブよりの推薦を2団体頂いております。このプロジェクトのテーマが何らかの形で継続して行われることを願っています。

上半期の活動報告



瀬戸山陰部メネット主査 後藤富貴子 (米子)

10月14日第16回瀬戸山陰部部会において、今年度のメネット事業のテーマである「現代の子どもの貧困」について、安田寿朗弁護士による「子どもの貧困や虐待について学ぶ」を記念講演として開催いたしました。

安田弁護士は、娘さんご夫婦と共に子どもの居場所として1992年「ちいさいおうち」を作り、月に数回集まる所として活動されています。講演会では、現在児童相談所では対応できないほど多くの相談があり、難しい問題の解決に携わっておられること、弁護士としての問題解決の体験、また問題を抱えた子ども達の現状について話されました。



遠路おいで下さった皆様方は、1時間40分にわたる講演を熱心にお聞きくださいました。そして席上献金を沢山捧げていただきメネット活動支援にお渡すことができましたこと、感謝の思いでいっぱいです。また、ご講演いただいた安田弁護士も、講演謝礼をそのまま献金してくださいました。紙面を借りて、感謝申し上げます。

私自身、このたびのメネット事業のテーマである「子どもの貧困」はテレビや新聞などでニュースとしては知っておりましたが、現実を目にすることもなく、「ちいさいおうち」の存在すら知りませんでした。周りの方々にお尋ねしても、ほぼ私と同じでした。

「各地の子ども食堂が連帯を強め、鳥取市内で子ども食堂を運営する団体や支援団体などが『地域食堂ネットワーク』を設立」と12月2日鳥取版の新聞に記載されていました。幅広い層の支援への、そして安定した運営機関の発信です。

この活動が少しずつ広がり、明るい未来のある子どもたちが、安心して成長できる環境を備えていかなければと思います。これからわたしたちは、色々な事を学びながら活動に参加・協力していきたいと心から思っています。

上半期の活動を振り返って ～ ネットアワー などなど ～

西中国部メネット主査 津川 圭子 (岩国)



2017-2018 年度も半年過ぎました。この半年間、広島メネット会を中心に活動を続けて来ました。主に9月29日にメネット月間としてピアノコンサートの開催、10月28日の西中国部 ネットアワー、11月23日のチャリティーランでの豚汁提供、12月3日のクリスマス会等々の活動です。まだまだ書ききれない多くの広島メネット会での活動も前向きに、楽しく取り組んできました。

今年度の大きな行事の一つとして、福山市で開催された西中国部部会と同日にネットアワーを開催しました。地元で活動されている団体を探すのに少し時間がかかりましたが、そらめ食堂さん(今回は都合がつかずに講演を辞退されました)から福山市のNPO法人「こどもステーション もこルーム」奥野様をご紹介いただきました。とても素敵でバイタリティのある方と繋がりが持てたことを嬉しく思いました。

講演内容は、もこルームを立ち上げてから現在の活動、ご自身の思い等もお話いただきました。もこルームは何らかの理由(病気、DV等)で片親になった子ども達の支援を中心に幅広く活動されておられます。また、広島メネット会の皆様が広島の象徴とも言える平和のシンボル・折り鶴を作成して参加者をおもてなしていただきました。個人的にも、色々な方面で福山市尽くしの半年間でした。福山市のことは何も知らないままでしたが、ほんの少し福山を知り、街を見られてより身近に感じられるようになりました。

この半年、広島メネット会の皆様やその他、多方面の方々のご協力がなければ楽しい時間を過ごすことも難しかったと思います。本当に感謝しております。後半も変わらぬご協力をよろしくお願い致します。

行事を通してさらにメネットの皆様と、それぞれの繋がりが出来れば嬉しいかと思えます。



上半期メネット事業活動報告

九州部メネット主査 大浦 京子 (福岡中央)

今期メネット事業国内プロジェクト「子どもの生きる力が奪われている状況(貧困、虐待など)について学べるように、啓発活動を推進する」方針のもと、7月より九州部長に同行できる範囲内にて、各クラブのメネットの方々に(訪問できなかったクラブにはお電話で8月に発行されたメネット報を片手に)広報活動を行いました。

そして、10月の九州部会では部長のこのプロジェクトに対する深いご理解とご協力を得て、子どもの貧困問題に対し2年前より子ども食堂等を主宰されている「フードバンク福岡」の雪田千春氏と、現在、17拠点で無料学習塾「マナビバ」を運営されている田口吾郎氏をパネリストに迎え「困難を抱える子ども達の将来を考える」と題するシンポジウムを開催させて頂く運びとなりました。今回、特にメンの方々に子ども達の現状を知っていただいたことは、とても有意義でした。

尚、部会でのネットアワーには大野勉理事をはじめ西日本区各地よりご出席賜り、合わせて36名の参加者を迎え、中道京子メネット事業主任の国内プロジェクトの説明を受け、皆で昼食をいただきながら年に1度の親睦のひとときを持つことができました。中でも偶然「メネットネットワークス」をお互い胸に飾って出席されていた神戸と福岡のメネットお二人の数十年ぶりの再会は、とても印象深いことでした。



メネット事業主任の応援団として
(神戸クラブメネットより)

中部合同メネットアワーに参加して

橋本和子(神戸)

11月18・19日中部合同メネット会が、金沢、湯涌温泉「お宿やました」を会場として行われました。竹久夢二が長期に滞在して作品を残した宿でもあり、そこかしこに作品が見られました。プログラムのハイライトはNPO法人「金沢・能登フードバンク」代表、津田たまえ氏による講演でした。氏は進行性筋ジストロフィーという病気を抱えながらも講演タイトルの「バンザイ フードバンク」さながら明るさとエネルギー溢れる女性でした。貧しさをも体験されたという氏の「援助を求める個人に応えたい」という強い願いが3年前のフードバンク立ち上げにつながりました。食べられない人の現状、又家庭の貧困のしわ寄せが子どもの食生活の貧しさに向い、子どもの未来が奪われている



現実は私達の心を震わせました。知らなかった事への気づき、学んだ内容の重さは、金沢のワイズメン・メネットをも動かし、新しい活動へと繋がりそうです。仲間にエールを送りつつ、帰宅の途に就きました。

(1982～1983年 日本区メネット事業主任)

(1984～1986年 アジア地域メネット事業主任)

(1986～1987年 国際メネット事業主任)

メネット事業主任の応援団として
(神戸クラブメネットより)

九州部メネットアワーに参加して

京極美栄子(神戸)

10月10日、中道京子メネット事業主任と神戸メネット4名(山本、長内、井出、京極)で九州部メネットアワーに参加しました。九州各クラブから30数名の参加があり、中道京子メネット事業主任の方針を熱心に聞かれ、午後からは参加各クラブの活動報告がなされました。岡山から熊本まで、広範囲にわたる9クラブがそれぞれの地域に即した特徴のある活動をしておられ、活発な活動の様子がよく分かりました。

当日のプログラムから進行に至るまで、大変よく準備され、充実した学びの多いメネットアワーでした。当日司会を務められた中村順子さん(福岡中央)はなんとその昔、私が日本区のメネット事業主任として神戸クラブの、長澤、大塚メネットと一緒に九州を訪問した時も温かく迎えてくださり、共にメネット活動をしたお仲間でした。予期せぬ再会に思わずハグをして喜びあいました。

そしてそして、今はもう作られていない、メネットのペンダントを言い合せたかのように二人がつけていたのです。何年会わなくても、会えば同じ目的を持って一緒に活動をすることが出来る! メネット活動っていいな! YMCAっていいなと思った一日でした。

(1988～1989年 日本区メネット事業主任)



第21回西日本区大会メネットアワー開催のご案内

と き 2018年6月9日(土) 11:00～12:40(10:30受付開始)

ところ ANAクラウンプラザホテル神戸 9階ジャスミン

講演 「深刻化する子どもと若者の貧困と格差 -いま私たちにできること-」
藤田孝典氏(NPO法人ほっとプラス代表理事)

2017-2018年度 ネット事業支援金中間報告

2018年1月30日現在

部	クラブ名	国内プロ	国際プロ	RSD	計	部	クラブ名	国内プロ	国際プロ	RSD	計	
中 部	金 沢	4,000	2,000	2,000	8,000	中 西 部	大 阪	20,000			20,000	
	名 古 屋				0		大 阪 土 佐 堀				0	
	名 古 屋 東 海	5,000	3,000	2,000	10,000		大 阪 千 里				0	
	名 古 屋 南 山				0		大 阪 高 槻	5,000	2,000	3,000	10,000	
	四 日 市	10,000		10,000	20,000		大 阪 セ ン テ ニ ア ル	10,000	3,000	5,000	18,000	
	名 古 屋 グ ラ ン ハ ス				0		大 阪	40,000	3,000	5,000	48,000	
	津				0		大 阪 茨 木				0	
	金 沢 屋 川				0		大 阪 セ ン ト ラ ル				0	
	メ ネット ア ワ ー	22,001			22,001		大 阪 な か の し ま	5,000	5,000		10,000	
	小 計	41,001	5,000	14,000	60,001		部 会	84,153			84,153	
び わ こ 部	近 江 八 幡	5,000	3,000	2,000	10,000	小 計	164,153	13,000	13,000	190,153		
	彦 根 シ ャ ト ー				0	六 甲 部	神 戸	20,000	5,000	15,000	40,000	
	長 浜	30,000			30,000		西 宮	10,000			10,000	
	草 津				0		神 戸 西	5,000	3,000	10,000	18,000	
	滋 賀 蒲 生 野	5,000	2,000	3,000	10,000		神 戸 ポ ー ト	5,000	5,000	5,000	15,000	
	メ ネット ア ワ ー	107,426			107,426		宝 塚	15,000	5,000		20,000	
	小 計	184,226	5,000	5,000	194,226		さ ん だ	5,000			5,000	
	京 都 部	京 都					0	神 戸 学 園 都 市	10,000			10,000
		福 知 山					0	芦 屋	5,000	2,500	2,500	10,000
		京 都 パ レ ス	3,000	4,000	3,000		10,000	部 会	52,821			52,821
京 都 ウ エ ス ト		10,000	5,000	5,000	20,000		メ ネット ア ワ ー	47,351			47,351	
京 都 め い ぶ る					0	小 計	175,172	20,500	32,500	228,172		
京 都 キャ ピ タ ル		10,000	5,000	5,000	20,000	瀬 戸 山 陰 部	姫 路				0	
京 都 プ リ ン ス					0		岡 山	10,000		5,000	15,000	
京 都 セ ン チ ュ リ ー					0		鳥 取				0	
京 都 ウ イ ン グ					0		姫 路 グ ロ ー バ ル	5,000			5,000	
京 都 洛 中					0		米 子	5,000	3,000	2,000	10,000	
京 都 エ イ ブ ル		5,000		5,000	10,000		部 会	80,911			80,911	
京 都 グ ロ ー バ ル		10,400			10,400		小 計	100,911	3,000	7,000	110,911	
京 都 み や び		5,000	5,000	10,000	20,000		西 中 国 部	広 島	5,000	4,000	4,000	13,000
京 都 ト ー プ ー					0			福 山	5,000		5,000	10,000
京 都 ト ー ビ ー		5,000	5,000		10,000			呉	4,000	3,000	3,000	10,000
京 都 東 稜		8,000		2,000	10,000	東 広 島					0	
京 都 ウ エ ル					0	岩 国		5,000	2,000	3,000	10,000	
京 都 Z E R O					0	岩 国 み な み		5,000	1,000	1,000	7,000	
北 京 都 フ ロ ン テ ィ ア		5,000	5,000		10,000	部 会		65,270			65,270	
メ ネット ア ワ ー		33,592			33,592	小 計		89,270	10,000	16,000	115,270	
小 計	94,992	29,000	30,000	153,992	九 州 部	長 崎		4,000	3,000	3,000	10,000	
阪 和 部	和 歌 山	5,000	3,000	3,000		11,000		熊 本	26,271	5,000	5,000	36,271
	奈 良	10,000	1,000	5,000		16,000	北 九 州	5,000	5,000		10,000	
	大 阪 サ ウ ス	15,000				15,000	福 岡 中 央	5,000	4,000	5,000	14,000	
	大 阪 堺					0	熊 本 ジ ョ ー ン ズ				0	
	大 阪 河 内	10,000	3,000	2,000		15,000	八 代	5,000	5,000	5,000	15,000	
	大 阪 長 野					0	鹿 児 島	5,000	3,000	2,000	10,000	
	大 阪 泉 北	32,060	3,000	2,000		37,060	熊 本 む さ し				0	
	和 歌 山 紀 の 川	31,000	5,000	3,000		39,000	熊 本 み な み				0	
	メ ネット の 集 い	26,000				26,000	宮 崎				0	
	小 計	129,060	15,000	15,000	159,060	熊 本 ひ が し				0		
そ の 他	メ ネット フ ァ ン ド	215,835			215,835	阿 蘇				0		
	個 人 献 金				0	熊 本 に し	10,000	5,000	5,000	20,000		
	合 計	215,835			215,835	熊 本 ヤ ン グ				0		
					熊 本 ス ピ リ ッ ト	5,000			5,000			
					熊 本 水 前 寺				0			
					メ ネット ア ワ ー	25,632			25,632			
					小 計	90,903	30,000	25,000	145,903			
					合 計	1,069,688	130,500	157,500	1,357,688			
					支 援 金 総 計	1,285,523	130,500	157,500	1,573,523			

編集後記

昨年の各部部会、メネットアワーでは温かく迎えていただき感謝申し上げます。メン、メネットのみなさまの熱い思いが私たちキャビネット一同のパワーの源となったことはいまでもありません。

西日本区大会メネットアワー会場は新幹線の神戸駅からケンケンでも行けるほど近くの会場です！おひとりでも多くの方々とお会いできますようお待ちしております。

2017-2018年度西日本区メネット事業

主任 中道京子(神戸)
書記 森 愛子(神戸)
会計 山本洋子(神戸)



森 愛子 中道京子 山本洋子